

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

シリーズ景観 37

～『みんなで残したい松江の景観400選集』から景観審議会が特にお薦めする景観～

— No.121 青石畳通り —

「美保神社大鳥居から仏谷寺に至る約200mの道いっばいに青石が畳のように敷き詰められた通りです。平成18年、未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選に選定されました」と推薦いただきました。

島根半島の東端に位置する美保関は、江戸時代から大正時代にかけて北前船の寄港地として栄えました。その当時、美保神社の大鳥居から東に約200mの通りには多数の船問屋があり、物資の積み降ろし作業を効率化するために海から切り出した石が敷き詰められました。この石は水を吸うと艶やかに青みを帯びることから「青石畳通り」と呼ばれ、今でも通り沿いにはレトロな建物が並び、古き良き時代のたたずまいを感じさせる場所となっています。



すがすがしい海の風を感じながら、のんびりと散策されてみてはいかがでしょうか。

「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】まちづくり文化財課 景観政策係 TEL 55-5387

松江の景観400選

検索

